

「AI・ロボットと人間の共存及び倫理：未来社会の課題と解決策」

AIとロボット技術の急速な進化に伴う社会的課題と倫理的問題に焦点を当てています。このシンポジウムは、AI規制の動向や人間共存ロボットの導入など、未来社会における重要なテーマを探求することを目的としています。専門家による基調講演とパネルディスカッションを通じて、安全で倫理的なAI・ロボットとの共存に向けた解決策を模索します。

日時 2024年08月1日(木)

13:30~16:30

会場：港区生涯学習センター（ばるーん）101学習室
（住所）港区新橋三丁目16番3号（電車）JR新橋駅下車烏森口徒歩3分
寄付：¥1,000（NPOあっとほーむ）（定員50名、資料、会場代他）



こんな方にオススメ

このイベントは、AI・ロボット技術の将来に関心がある方々、特に企業経営者やコンサルタント、AI倫理・安全性に関心のある方々にお勧めです。



●基調講演1：「AIロボット研究の現状と将来」 13:30-14:30（内10分質問）

菅野重樹氏（早稲田大学理工学術院 学術院長、日本ロボット学会会長）

【概要】少子高齢化により労働力減少が危機的状況にある中、ビジネス、生活、医療・福祉現場などで人を支援できる人間共存ロボットの導入の期待が高まっている。人間共存ロボットに求められる機能として、人に対する身体的・心的適応性と安全性、人を支えることができる高出力性とスキルを備えた巧緻性がある。

それらを実現するために、新しいハードウェア設計、AI導入が試みられているが、その技術的ハードルはかなり高い。また同時に、ELSIに着目した社会受容性も考えなければならない。この講演では、最新の間共存ロボットの設計とAIの現状およびその将来予測を紹介しつつ、人間共存ロボットの技術とELSIとの関連を考える。

●基調講演2：「脳とデジタル社会」 14:30-15:30（内10分質問）

小泉英明氏（日立製作所名誉フェロー、物理学者・脳科学者）

【概要】倫理や道徳は習俗や慣習から発生し、人間を中心に考えられてきた。現在、地球表面に張り付いた薄膜の生命圏の中で、自然を原点とした生存の理法とも言うべき新たな倫理が必要となってきた。情報社会の中での「人類の安寧とより良き生存」を考える。

●パネルディスカッション 15:30-16:30

パネラー：司会：田村慎吾氏（早大ロボット、ソニーロボット開発メンバー）

藤田雅博氏（AIロボティクスコンサルタント、元ソニーVP、AIシニアチーフリサーチャー）

長嶋功一氏（人と一緒に働くヒト型ロボット"NEXTAGE"の開発・応用、カワダロボティクス）

チャタルジー ラノジット氏（AGAMI Inc. 代表取締役、ロボット、人工知能）

井上隆史氏（R&Dコンサルタント、AI懸念論、元日立製作所生産技術研究所）

小倉博行氏（AIガバナンス、元三菱電機、情報システム）



参加申し込み方法 左記事項を記入の上、（1）お名前（2）お勤め先（3）ご連絡先（メール、電話）

外村（k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp）、または、鈴木（6j929@dance.plala.or.jp）へ

問い合わせ先（1）新着IT情報 鈴木昌則 携帯 090-4843-7073、6j929@dance.plala.or.jp

（2）ゆらぎ研究会 外村孝史 携帯 090-5207-6098、k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp

主催 新着IT情報（<https://www.it-news-pro.com/>）

後援 ゆらぎ研究会